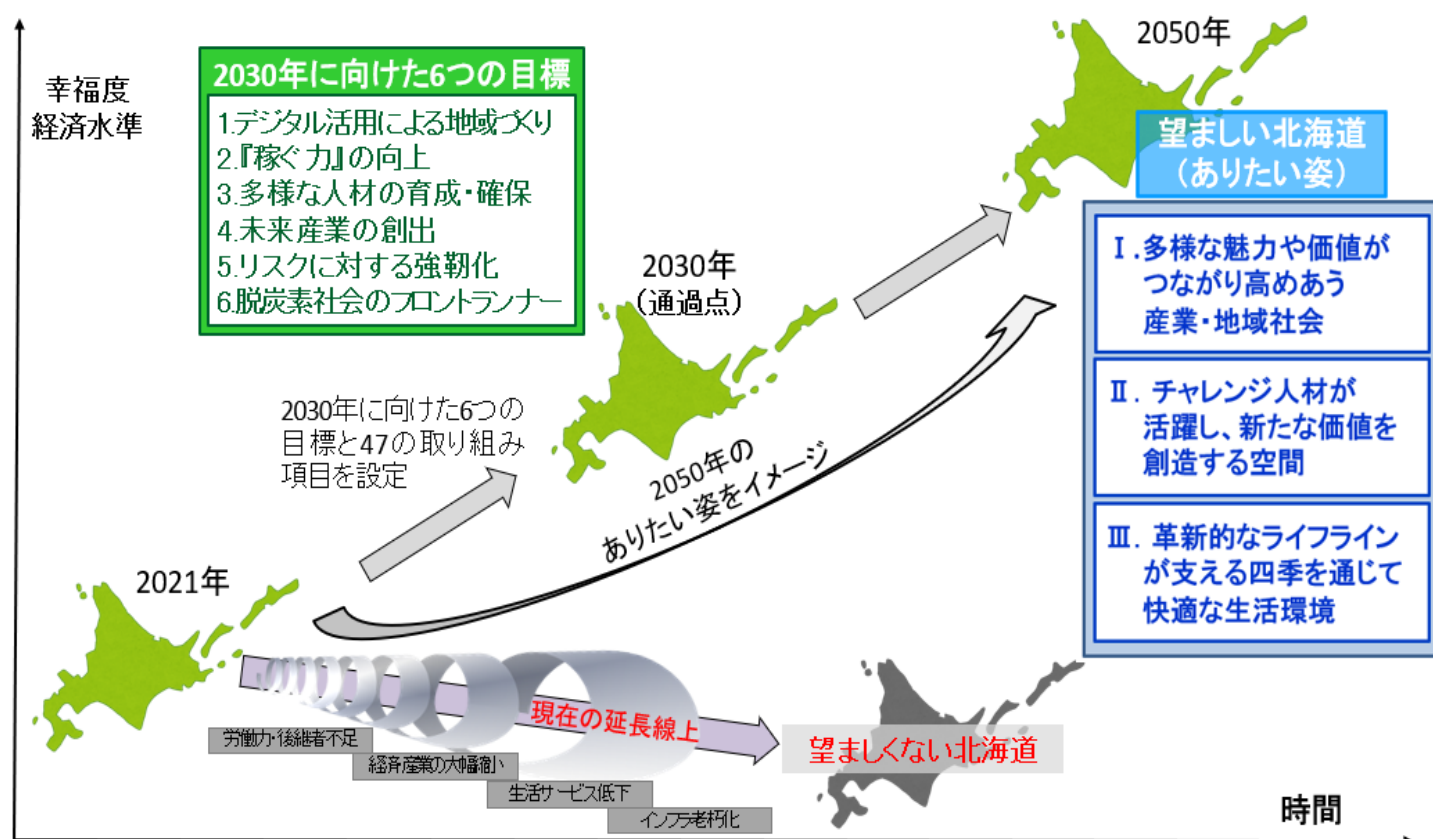


2050北海道ビジョン

～『課題解決先進地域』のフロントランナーを目指して～

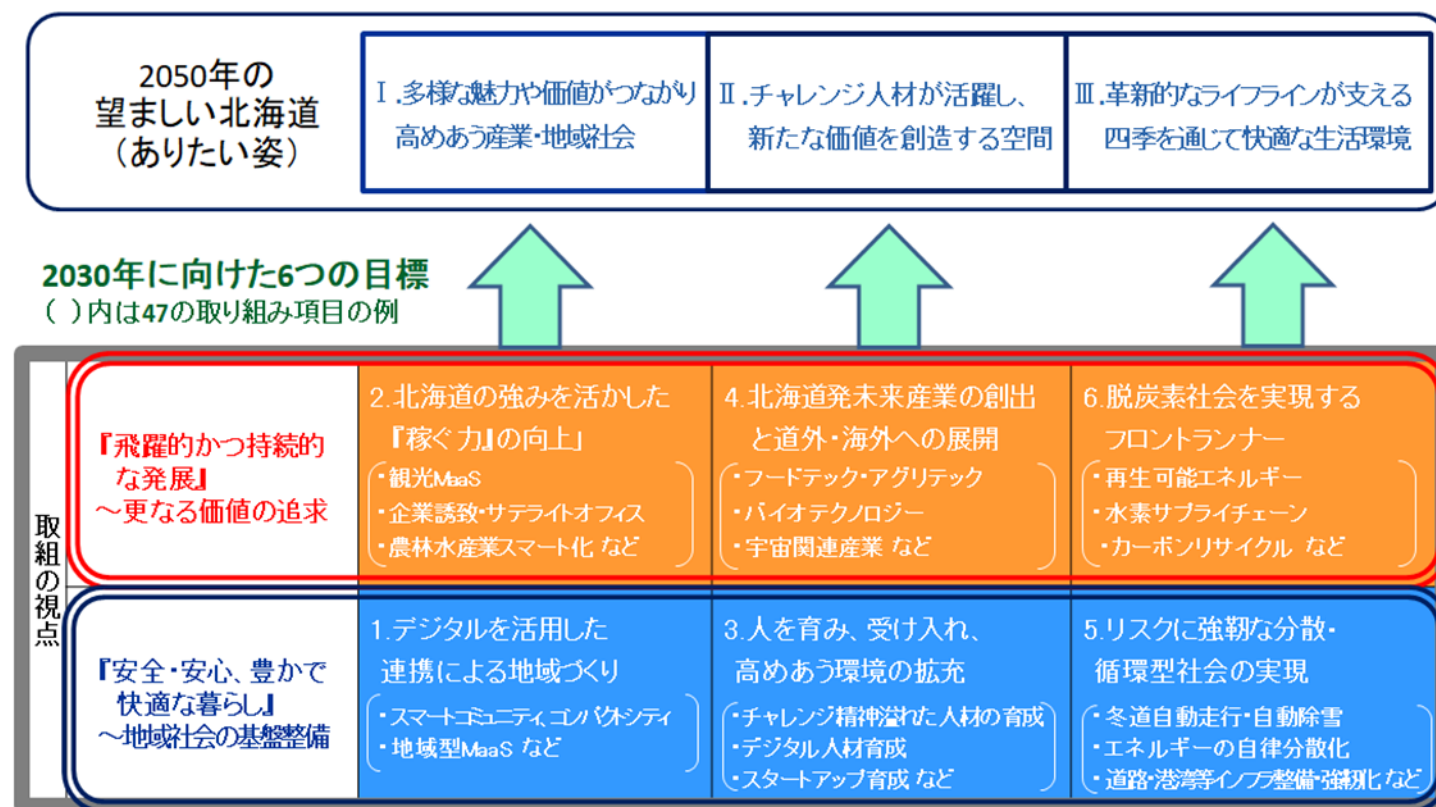
2021年6月
北海道経済連合会

- ◎ 広域分散・積雪寒冷といった地域特性を持つ北海道では、人口減少が全国よりも10年早く進み、それに伴う諸課題が顕在化しつつあり、「**課題先進地域**」とも言われています。さらに今回のコロナ禍もあり、現在の延長線上、つまり、これまでどおりの考え方や施策の積み重ねでは、地域の存続が危ぶまれ、「**望ましくない北海道**」に進みかねません。
- ◎ 人口減少がもたらす諸課題の解決を図り、持続可能な北海道を実現していくため、21世紀後半への転換期である2050年を目標年と設定し、その時点での「**望ましい北海道**」を「**ありたい姿**」として描きました。また「ありたい姿」の実現に向けたマイルストーン（通過点）を2030年に置き、これからの10年間で、官民を挙げた「**オール北海道**」で取り組むべき「**6つの目標と47の取り組み項目**」を掲げ、「**2050北海道ビジョン**」として取りまとめました。
- ◎ 北海道の明るい未来を創るため、「2050北海道ビジョン」の実現に向けて、小さな成功事例や実績を積み重ね、「北海道モデル」として世界に向けて訴求・発信できる『**課題解決先進地域**』の**フロントランナー**を目指します。



2030年に向けた6つの目標

- 目標1・3・5は、「安全・安心、豊かで快適な暮らし～地域社会の基盤整備」に関する内容です。目標2・4・6は、「飛躍的かつ持続的発展～更なる価値の追求」に関する内容です。
- この6つの目標の達成に向けて、掲げた47の取り組み項目に、「オール北海道」でしっかり取り組んでいきます。そして、2030年のSDGsの達成、また、SDGsの一步先である「Beyond SDGs」にもつながっていきます。



2050 年の「望ましい北海道（ありたい姿）」のイメージ

- ◎ 2050 年の「望ましい北海道（ありたい姿）」は、左記のⅠ～Ⅲが実現することで、課題解決を超え、飛躍的かつ持続的な発展を達成し、成長モデルの提示により世界に貢献する先進地域となっています。
- ◎ そうした 2050 年の北海道では、あらゆる格差がなく、多様な人々が交流・共生し、すべての世代が、誇り・夢を持ち、生きがい・感動・心の豊かさを感じ、幸福な暮らしを営んでいます。

Ⅰ.多様な魅力や価値がつながり
高めあう産業・地域社会

Ⅱ.チャレンジ人材が活躍し、
新たな価値を創造する空間

Ⅲ.革新的なライフラインが支える
四季を通じて快適な生活環境

